

堺史料類纂總目次

堺市立図書館蔵

## 「堺史料類纂総目次」刊行にあたって

「堺史料類纂」は明治三十五年堺史の編纂を目的として堺史編纂委員会によつて調査収集された資料の稿本である。同委員会は同年一月中井作次氏を委員長として和田幾太郎、寺田兵次郎、広岡巴、曰下元隆の諸氏を委員として組織され、村瀬秀実氏を編纂掛として資料の収集調査にあたつたが、この編纂の事業は実現されず、翌年早々に解散した模様である。

この堺史料類纂は明治三十五年までの刊本、写本、新聞、雑誌などより堺に関係ある箇所を抜書、調査書、その他圖書、碑銘、古記録よりなり、宗教部九冊、学芸部十冊、地理部六冊、風俗部一冊、政治部七冊、経済部二冊、工業部三冊、商業部三冊、漁業部一冊、市会議事録六冊、拾遺十冊の部門別に編纂されている。

なお、「抜萃書目」として掲げたものは、六十年後の今日この総目次の刊行に際して作成したものであるが、その殆んどが現存しないため、編著者、刊行年の不明のもの、あるいは刊本、写本、古文書等の区別のつき難いもの等、甚だ不完全なものとなつた。また、この総目次においては印書の関係上大部分を当用漢字に改めた。

昭和三十六年三月

拔萃書目

開口社如意宮縁起  
開口神社礼祭神考  
石津太社神社由来並二縁起  
石山旧録  
和泉国旧跡 延宝九年  
和泉名所図会 竹原春朝齋画 寛政七年  
伊勢や日向の物語  
一休諸国物語図会  
引接寺縁起  
謡と能 大和田建樹編 明治三二年  
雲萍雜誌 柳沢淇園著  
絵本石山軍記  
絵本難波戦記雑話  
延喜式神名帳  
延長寺相統之記録  
大阪朝日新聞 明治三四―三五年  
大阪毎日新聞界周報 明治三四―三五年  
大隅国風土記  
大寺縁起

翁天満宮略縁起  
翁物語  
お染久松野崎村ノ段 曲亭馬琴著  
御伽百物語 青木鷺水著 宝永三年  
堺府郷校記  
瘡神社修覆勸進録  
外交史稿 外務省編 明治一七年  
峨山逸話  
聴耳世間狙 上田秋成著  
奇書集覽  
北野縁起  
旧事記 近松卯平氏蔵  
校訂 京伝傑作集  
旭蓮社縁起  
琴曲独稽古 博物館編 明治三二年  
金魚養玩草 安達喜之著  
近古史談 大槻磐溪著 元治元年  
近郷名家人名録  
櫛笥寺縁起  
群賢押譜

群書類從 塙保巳一編  
毛吹草 松江重頼著 寛永一五年  
言海 大槻文彦編 明治二四年  
工芸志料 墨川真頼編 明治一〇年  
紅谷庵縁起  
紅谷庵梵建立論  
向泉寺安産観音縁起  
向泉寺縁起  
萬崙雜書  
皇朝歴代史  
光明院縁起  
国史案 木村正辞編 明治一五年  
稿本国史眼 帝国大学編年史編纂掛編  
明治二三年  
国史略 岩垣松苗編 明治一一年  
古事記  
国花万葉記卷五 和泉国  
骨董集 山東京伝著 文化一〇年  
古帳雜記写  
子安船玉十一面観世音略縁起記

子安船玉両願之観世音儀記縁起  
堺鑑 衣笠一閑 貞享元年  
堺史談 河盛彦三郎著 明治二七年  
堺史談会誌第三卷  
堺新聞第一一五号 (明治二六年一〇月)  
左海人名録 九宝閑民編  
堺段通商事歴  
堺東北 申唱町名独案内 弘化四年  
西郷家役石銀帳  
真田三代記  
酒造月報 明治二三―三五年  
勝地吐懷編 契仲著 元禄五年  
続日本記  
聖徳太子伝暦  
正法寺縁起  
聖武帝御剃髮伝記  
書画便覧  
諸国里人談  
糸乱紀 高石通齋著 享保五年  
享保二十年新檢地以来年々御取箇

新天誅

真書太閤記

地郷信解品

開山十万人略縁起

神宮寺安樂院縁起

菅原社縁記

住吉旧記

住吉神社神代記

住吉貞享雜記

住吉筆記

住吉名勝図会 寛政六年

世事百談 山崎美成著 天保一四年

摂津国東成大阪邑石山城略記 嘉永元年享

摂津名所図会住吉郡

摂陽群談 岡田溪志著 元祿一四年

摂陽落穂集 浜松歌国著 文化五年

泉州志 石橋直之著 元祿一三年

泉州信田白狐伝

泉州湊村天満大自在天神祠縁起

全界詳志 高志芝巖著 高志養浩補

蘇鉄縁起

大徳寺住持藉

大日本商業史 菅沼貞風著 明治二六年

大日本史

大日本史料 東京帝国大学編

大日本人名辭書 明治三三年

茅海新聞 明治三二年

乳守社由来起

茶考抄

茶の湯栞

長泉寺縁起

超善寺縁起

珍希記

手鑑(延宝・享保・延享・宝暦・寛政)

鉄砲記

天誅組略記

天保三十六年家絶句

伝承記 安達信五郎氏蔵

南海鉄道案内 明治?年

難波丸綱目 延享五年・享和元年

浪花軍記

南狩録

日隆大聖人一代略記

日本外史 頼山陽著

日本教育資料 文部省蔵版 明治二三年

日本釈名 貝原篤信著 元祿一三年

日本社会事彙 明治?年

日本書紀

日本書紀通証 谷川士清著 宝暦一二年

日本事物起原 明治?年

日本戦史 参謀本部編 明治三〇年

日本徳国風土記

日本美術画家人名詳伝 樋口文山編

明治三四年

日本名家人名詳伝 明治?年

日本名勝地志 野崎左文編 明治二九年

日本輿地通志畿内部 関祖衡 並河永共編

享保一九年

日本西教史 太政官藏訳係訳 明治一一年

日本歴史辞典 明治三五年

諧逸話

博覧会彙報 明治三六年?

泉州堺長谷寺縁起

八幡宮本記

八幡大菩薩御遺跡

八幡大菩薩御縁起

阪堺鉄道経歴史

梅園考

秘事囊

悲田院縁起

船待神社縁起

仏心歴代師承伝

武用弁略

方違宮縁起

本受寺過去帳

本朝軍器考 新井君美著 享保七年

本朝人物叢伝

本朝神社考 林羅山著

本朝世事談綺 菊岡沾涼著 享保一九年

墨江紀略 黙雷室著 享保二年

湊村記録  
 妓法寺縁起  
 都絵馬鑑  
 妙国寺歴代繪旨口宣案  
 明治国民龜鑑 明治？年  
 明治歴史 明治？年  
 百舌鳥神社縁起書  
 文珠四郎染附暖簾 化鉄斎刀子著 文政初  
 有楽館記  
 養浩界鑑  
 来迎寺縁起  
 浪螢集 天保八年？  
 和歌名所追考  
 和漢三才図会 寺島良安編  
 和漢年契 寛政九年  
 和訓六帖

## 堺史料類纂総目次

### 宗教 一 神社一 基督教

神社総論（統計 歴年起算表その他）  
 神社各論

- 一、開口神社
- 二、菅原神社、錦翁天神（梅翁寺）
- 三、市戎社、本戎社
- 四、方違神社
- 五、向井神社（東原大明神）
- 六、神明神社（新地）
- 七、高須稻荷神社
- 八、湊村天神社
- 九、小 祠
1. 瘡神社（湊村）
2. 乳守宮
3. 久之森稻荷
4. 如意明神社
5. 琴平神社

### 宗教 二 神社二

神社各論

- 一、住吉大神宮
- 二、石津神社
- 三、大鳥神社
- 四、高石神社 信田大明神ノ社
- 五、舩松神社（九艘明神）
- 六、小 社
1. 三宝村松屋新田氏神及社
2. 全 山本新田氏神及社
3. 全 南嶋新田氏神及社
4. 蜂田神社

### 十、廃社又は合併ニナリシモノ

1. 熊野王子社
2. 神明神社（神明町）
3. 稻荷神社（車之町）
4. 神明宮（大小路）

基督教と堺（中世末に於ける）  
 神宮奉斎会

5. 陶荒田ノ社  
6. 大依羅神社

宗教 三 寺院一

寺院総論（堺寺院歴年表 名称位置 統計）  
寺院各論一

一、天台宗

光沢寺 智禪寺 光明院 安樂院

二、真言宗

觀月院 發光院 塩穴寺 長谷寺

東光寺 向泉寺 千蔵院 長樂寺

大福院 重樂院

三、融通念仏宗

林昌寺 米迎寺

四、時宗

引接寺 金光寺

宗教 四 寺院二

寺院各論二

五、浄土宗

宗教 六 寺院四

寺院各論四

七、禪宗

南宗寺 本源院 天慶院 臨江庵

禪樂寺 海会寺 大安寺 長慶寺

少林寺 祥雲寺 禪通寺 紅谷庵

法泉寺 妙光寺

宗教 七 寺院五

寺院各論五

八、日蓮宗

妙光寺 本伝寺 妙慶寺 本成寺

妙法寺 調御寺 顯本寺 法華寺

興覺寺 妙満寺 櫛笥寺 妙国寺

成就寺 経王寺 本受寺 妙円寺

長源寺 本行寺

九、寺院什宝目録（常通寺 光接寺 一光

庵）

十、堺市附近の寺院

禪海寺 家原寺 香林寺 華林寺

宗教 五 寺院三

寺院各論三

六、真宗

教蓮寺 源光寺 宝光寺 慈光寺

養寿寺 念勝寺 西然寺

東本願寺別院 玉龍寺 西本寺別院

覚応寺 萬福寺 浄得寺 浄因寺

延長寺

萬代寺（毛須寺） 願成寺

宗教 八

寺院ニ関スル諸参巧書綴

神社ニ関スル諸参巧書綴

基督教（天主教）

宗教 九 宗教拾遺

開口神社 菅原神社 神明神社 方違神社

惠美須神社 事代主神社（本戎社） 琴平社

社（海船琴平社） 神明社（新地神明社）

鉾神社 市杵島姫神祠 稻荷神社（高須・殿

馬場） 惠美須神社 熊野神社 事代主神社

琴平神社 神明社 道守神祠 鉾神社

胃神社 鮎松神社 向井神社 船待神社

狭々神社 都岐島神社 日洲神社 田守神社

大鳥神社 百舌鳥神社 百舌鳥原神社神苑創

設趣旨書 高石神社 石津太社神社 稻荷神

社 荒神堂 首截地蔵 一路庵

学

芸 一 文学・医術・美術工芸

文学

一、堺文学―紅丹花肖柏、宗椿―河盛彦三郎著

二、奥野小山詩集抄録

三、山侯手書記 小林信撰

四、長柄橋木記 小林信撰

五、土屋弘詩

六、柳廬の詩

七、円曾、知家の和歌

八、阿部温詩集抄録

九、堺に関する書籍目録

十、本朝書籍目録下

医 術

一、堺久住之医家

二、半井胡丸

美術工芸

一、土佐派画家

二、今井宗薫肖像贊

三、堺人所蔵什宝目録

四、名器目録

五、秀吉北野の茗蒸に堺の茶家名器を出陳せしこと

六、信長松井友閑に命じ堺有名の茶器を献覽せしむ

七、天倫和尚筆（中村氏祖先に関する記事）

八、蒔絵（東山時代）

茶人ニ関スル参巧書綴

茶道、茶考抄、茶会、教寄屋、茶具唐名ノ事、茶器

事、茶器

文芸ニ関スル参巧書綴

巨勢金岡、和泉式部、津守国基、狩野正信

石山旧録、山岡宗無、宗椿、茶人ノ貫、北

野縁起九卷、伊勢立阿彌、画師心蓮、世事

談拔書（画伝） 絵所土佐系譜、小山朝山

伊藤仁斎、小西来山

堺史談会誌才三巻拔萃

三つ村（謡曲）

學術ニ関スル参巧書綴

衛生、印刷、天文、算数、度量衡

学

芸 二 教育

教育総覧

教育各論一

一、堺府郷校記

二、医学校

三、堺中学校沿革誌（自明治二十八年二月至全三十四年三月）

四、堺高等女学校沿革誌（自明治七年五月至全三十五年四月）

五、女紅場

六、堺高等小学校沿革誌（自明治十一年六月至全三十四年末）

七、上等小学校

八、堺女子高等小学校沿革誌（自明治三十一年至明治三十四年）

九、泉二番小学校目録（自明治六年六月至八年七月）

十、南旅籠尋常小学校沿革誌（自明治五年四月至全三十五年）

十一、宿院尋常小学校沿革誌（自明治五年

四月至全三十四年十二月）

十二、市尋常小学校沿革誌（自明治六年一

月至全三十五年七月）

学

芸 三 教育二

教育各論二

十三、熊野尋常小学校沿革誌（自明治五年四月至全三十五年三月）

四月至全三十五年七月）

学

芸 四 教育三

教育各論三

十四、堺錦尋常小学校沿革誌（自明治五年四月至全三十五年十月）

四月至全三十五年七月）

学

芸 五 教育四

教育各論四

十五、錦小学校分校日誌（自明治十三年一

月至全三十五年一月）

十六、錦西尋常小学校日誌拔萃及沿革誌

(自明治三十二年至 三十五年三月)  
十七、英彰尋常小学校沿革誌(明治三十四年十二月至全三十五年九月)  
十八、私立界幼稚園沿革誌並市立界才一幼稚園誌(自明治三十二年一月至全三十五年十月)

## 学 芸 六 人物(上)

### 人物総説

#### 人物各説(上)

##### 一、政治家

松井友閑 三好存保 石田重成 池永某 主斗某 小河一敏 藤井千尋 吉田豊文 小向寛雄

##### 二、武人

松山新助 小西行長 木戸作右衛門

##### 三、学者文人画家書家

里村玄陳 上条柳庵 上条柳居 高志養浩 柳加 磯相泉 等 土佐久翌 津川右衛門尉 趙陶齋 正善 栖鳳

## 学 芸 七 人物(中)

### 人物各説(中)

##### 五、医家

半井氏先祖書 半井道三 半井瑞策 半井卜養 半井宗珠 松井宗門

##### 六、商売

穴喰屋某 小西如清 西るい才家系 今井道与

##### 七、社会事業家篤行者

吉川俵右衛門 神辺大道心 北田豊三郎 日傭長次郎

##### 八、音楽家

高三隆達 喜多七太夫 車屋道悦 宮

和田益斎 土佐光純

##### 四、僧侶

澄円 一路 岐翁 瑞溪 仙岳 一凍 宝叔 松岳 雲英 瑞林 江月 安室 江雪 翠岩 虎岩 沅南江 日蘭泉 南

尾道三 惠藤源左衛門

##### 九、技芸家(茶人 華道家 甚客)

紹鷗 道陳 利休 宗久 宗薫 宗吸 油屋宗味 油屋紹佐 西屋宗佐 油屋常祐 小西彌三 小西道純 石津屋宗

嬰 伊勢屋宗滴 菅田屋宗宅 文阿彌

意雲 温故 利玄

##### 十、奇人狹客遊女

鼠棲栗新左衛門 一寸徳兵衛 遊女地

獄

## 学 芸 八 人物(下)

### 十一、界ニ関係アル人物並界附近出身人物

#### イ、武人政治家

山名氏清 細川氏 大内氏 三好氏

#### ロ、文入学者画家

牡丹花肖柏 榊原皇洲 満生 兄長谷川菅緒 松木淡々 渡辺重春 関茂園 土佐光則 土佐光吉 土佐光起 林園苑

## 学 芸 九 伝記

### ハ、僧侶

行基 雅真 明範 玄海 快尊 一休 大林 春岳 伝心 天倫 鶴州 沢庵 大心 峨山

日本武尊 神宮皇后 武内宿禰 履中天皇

磐之媛 野見宿禰 王仁 百濟酒若

紀實之 和氣清麻呂 藤原為家 藤原家隆

安部晴明 源行家 源頭家 新田義貞

足利氏 畠山基国 富山満家 十河一存

十河存安 伊丹雅興 斎藤龍興 織田信澄

織田信長 松永久秀 松永永種 今井道興

長曾我部元親 九鬼嘉隆 後藤基次

豊臣秀吉 淀君 豊臣秀頼 小出氏

島津義弘 徳川秀忠 徳川家光 石田三成

呂宋助左衛門 徳川家康 細川忠興夫妻

大野治長 大野治房 織田有楽 天野屋

利兵衛 大塩平八郎 「養治界鑑」

河端氏系譜

学 芸 学芸拾遺 伝記

和泉式部古跡 茜屋宗佐 油屋常祐 油屋  
紹佐 油屋宗味 石津屋宗嬰 伊勢屋宗滴  
一休 一節道清 今井氏家紀 今井宗久  
今井宗薫 加賀四郎 河野進斎 休翁  
岐翁 道陳 茶人空海 吉左衛門 行基  
沅南江 小西道純 小山朝三 菅田屋宗宅  
相泉 雜賀淨甫 正善 春慶 心蓮 西順  
瑞溪 栖鳳 紹鷗 肖柏 関茂園 仙岳  
宝叔 一凍 雲英 瑞林 松岳 江月  
安室 虎岩 天倫 翠岩 江雪宗立 利休  
宗椿 鉢 鍛冶宗鉄 玉屋吉兵衛 趙陶斎  
津川右衛門 滴水禪師 等誓 土佐光起  
土佐光純 土佐光則 土佐光吉 甫竹  
三宅寄斎 和田益斎 奥野小山 渡辺重春  
小田清雄  
三味線 茶屋株 遊女町 卯之葉女 花摘  
の唱歌 芝居

総説

和泉国大鳥郡の部  
山川 池沼 井戸 村里 関梁 文苑  
界地理考  
界に関する統計  
芝居 出火 船年寄 戎嶋湊内疎通 江戸  
献上物等の事  
地名境域形勢  
地名の起因  
界浦の名称  
界泉州摂州西属の説  
界境域  
延享及享和の界境域  
地位及形勢  
界の地理  
界市の位置形勢  
北荘 南荘  
泉北泉南両郡鄉村名  
市街  
徳川家康境の市街を再造す

地理 一

錦綾の町名起因

地位形勢の沿革

西郷家役石銀帳(寛政十一年十月)

堺南北東西申唱町名独道案内(弘化四年

五月)

堺町名

市中間敷之事

三ヶ村農人町表側間敷

河川橋梁附井戸

河川

大和川 新堀川 大和川開鑿並ニ架橋

大和川(延享五) 大和川 新大和川

大和橋 新川普請 大和川の事 東堀川

の事 堀川の事並ニ御影山の事 新堀川

(延享五) 御影山築造

橋梁

橋梁架設の年代位置等 千歳橋架換に関

する古記録 大和橋 少林寺橋 栄・旭

勇橋架設命名

井戸

口碑集

一 界区市街の井戸試験報告 堺市邑の井水  
堺市街井水改良考按 堺の名井

堺海船港附近神宿材之沿革

小桜町名称の起源

錦之町の銀杏大木の事

桜之町名称の起源

堺の豪商大阪へ引越之事

木村長門守の末孫烟硝屋となる

七堂の七不思議

古文書の所在 開合書

浅香山 葦原浜 行在所附神宮奉斎会

占ノ辻 朴津 戎島 大浜公園地 伽羅橋

七堂浜 塩風呂 宿院 新地 高須

玉横野 乳岡山 戸立野 殿馬場 虎子石

長塚山 長山 舩松(九艘小路 九本松)

半井家ノ隠宅 飯起堀 目口筋 三國橋

湊村 大和川鑿由来 山ノ口筋

地理 二 港湾及波止

港 湾

堺大浜の変遷

堺新水門

港湾修築並ニ石堤工事に関する記録

堺港の濫觴(吉川倭右衛門之事蹟)

吉川倭右衛門小伝

吉川倭右衛門港湾浚渫関係書類

湊普請願一件

江戸表江御親之節相改書上候願書

最初願立より手続書上

御親之節御召ニ而御答書

貸付地図坪数見込書上

証人に御尋書之控 (以上寛政元年)

羽倉権九郎様御見分御改之節証人共御召

御尋請書

湊堀諸八用積書上帳 (以上寛政二年)

朱引通築立地面追々出来可有之地子銀年

限を以申上候様江戸表より被仰渡候ニ付

願書

願御免之節御請書 (以上寛政三年)

南新川書上

借用銀ニ付願書 (以上寛政四年)

御拝借請切地所御引渡願並地面ニ付取計

一件願書

湊普請留 (以上寛政六年)

褒美請書(寛政七年)

堺港湾埋立工事費補助

所々石垣間数

港湾地図

波 止

波止増築並燈台建築之始末

堺波止増築始末

石堤波戸(延享五年・享和元年)

地理 三

新 地

新地の状況

新地再興のこと

嘉永三年新地拝借地面再改野帳

新地の変遷

郵便電信電話鉄道人力車旅館里程

堺郵便電信局業務沿革誌

堺電話交換支局(電話の状況)

堺市の電話近況

阪堺鉄道沿革

堺停車場

大和川停車場

湊停車場

南海鉄道堺駅より各名所への人力車賃

旅館

堺大小路より各地への里程

堺より紀州への道程その他

岸和田より所々へ舟路

大小路新町口より諸道程

人口戸数及牛馬船数

堺人口戸数 堺町数及人口

堺家数、人数(元禄六年)

牛馬船数 先規並馬数

堺惣船数(延享五年)

物 産

泉州名品一休和尚の鳥扇

堺の胡瓜 蛤(細川十州の詩)

金魚の将来 金魚の変遷

郡山金魚の話

災 異

堺の地震

嘉永七年大地震の記念碑文

天文・文化兩度の港水

応安以来堺の火災 応永の兵火

文政十年の火災

慶応四年堺錦之町焼の大略

明治の火災(新地焼ケ、具情焼ケ、御坊焼)

天保三年の干魃

堺大阪ニ赤砂及白毛降ル

堺ニ関スル天文年間の記事抄

地理 四

名所旧蹟

堺名所旧蹟(明治七年調)甲ノ明神附馬

堂 荒神堂 戎嶋観音堂 善法寺並龍神堂  
 界王子ノ社 高野堂 首截地藏 宿院  
 名越浜 開口ノ亭 九艘小路附九本松（鮎  
 の松） 塩風呂 目口町 三国街（三国山  
 上条柳廬詩） 占の辻 界浦（夫木集）  
 大浜公園 界魚市場の濫觴 魚市 旭館  
 北大浜 廬原浜 七堂繼嶋 躍念仏 七度  
 （七道）浜 高須 高須の遊廓の迹 戎嶋  
 戎嶋水茶屋 戎社 お鯛茶屋 戎嶋紀州屋  
 敷 浅香山明細帳 浅香山由緒書 浅香山  
 諸役免許之写 浅香山証文（狐塚に稻荷堂  
 建築之事） 浅香山高反別 浅香丘 稻荷祠  
 浅香浦 戸立野 玉横野 横野郷（玉横野  
 郷） 朴津郷 朴津里 朴津（朴津寺の旧  
 蹟） 遠里小野（極楽寺） 海船の館（梅  
 翁寺） 山の口筋 半井卜庵の狂句 殿馬  
 場 諸官衛の位置 並松町 大内義弘の城  
 趾 高林寺の位置 虎子石

名井

海会寺井 金龍井 金龍水の来由 金龍水  
 の碑文 無量水 鑿井 向井領井 飯匙池

等

和泉国の風土、建置沿革  
 和泉国号の始り  
 和泉国の起源並ニ茅渟海、同建置沿革  
 和泉国の位置、地勢、沿革、物産、堺市  
 （位置、名勝、社寺）  
 大鳥郡（位置、郡名の起源、地勢、陵墓  
 社寺、名勝）  
 泉郡（全） 蜂田の郷  
 家原村、市村、踞尾村、下田村  
 深井の荘 毛須の荘  
 土師村 百濟村  
 直尻村 日置村 石津  
 茅渟  
 珍努海 茅  
 茅山 茅 之来由  
 茅宮遺 茅 浦  
 堺郷  
 政・治  
 和泉監 堺の名称の起因

飯匙堀 凡人中家  
 墓所

四所墓 四所之三昧

風間六右衛門尉之墓石（在柳之町西二丁

月蔵寺）

在月蔵寺の石碑（大野道見）

古塚（紹鷗、牡丹花、道陳、蓮如、三好因

州、大内義弘、風間六左衛門墓の所在）

高志養浩の墓（在南半町 宗善寺）

地理 五 地理拾遺 和泉国一

総説

建置沿革

租税

祥異

風俗

和泉監設置

城

郷名

氏族

形勝

国名の起因

藩封

大鳥郡（郡名の起因、氏族、郡出身の人物

和泉監百姓の贖給（天平）

和泉山背等飢饉（天平神護）

和泉国飢（延暦）

下破内親王を淡路より和泉に移す（延暦）

和泉国雹を降らす（延暦）

和泉国諸寺を檢校す（弘仁）

河内和泉の長、次官（承知）

摂津国江南四郡を和泉国に隸す（天長）

和泉江南四郡を摂津国に還附す（全）

源定徳遊覧、飢疫、四度使処分（貞観）

飢饉賑給、班田檢校調地子の免除（元慶）

和泉国楊梅子を貢進す

和泉国正税公解高 和泉国の調

宮内省庁屋の修築（長元）

和泉国醫実を出す（天養）

和泉国勘文

兼実に玉泉国を給ふ（文治）

頼朝佐原十郎左衛門尉義連を紀伊和泉両国

の守護に補す（文治）

後鳥羽上皇堺の王子に行幸す（建仁）

宗信を播州に配流す(建久)

守護佐原十郎左衛門卒去後和泉紀伊兩國を

院(後島羽院カ)熊野詣駅家雜事となす

和田助家をして和泉大歌十生長官職を領せ

しむ(建武)

雜訴決断所牒(和泉国衛及守護所)(建武)

宮内丞為成和泉黒島村を領す(元弘)

龍門經光和泉木島莊地頭職(元弘)

雜訴決断所再牒(建武)

松尾寺僧徒具狀(建武)

松尾寺僧徒具狀(建武)

明人朱素郷来朝経路

天文の和泉知行高、文録檢地高

陶器領主

和泉国神社 泉州寺社数

和泉国寺社数、村数、檢地石高

万代八幡宮 百舌鳥神社縁起書

地理 六 地理拾遺 和泉国二

名所旧蹟

和泉国旧蹟

七権者 七浦 七郷 七庄 七谷 七尾

界北之庄支配者、石高、庄屋

界寺領寺 宿院

大仙陵 尾張谷

腰張紙 壺焼塩

戎の宮(下石津) 戎腰掛の石(下石津)

行家の松(下石津) 神鳳寺

今井若家、兼平城跡、竹力城

常楽寺、金堂跡(船尾)

泥仁清公城跡、壺大明神

留木筑摩(留木) はんだ壺(東村)

花林寺(八田寺) 香林寺(南深井)

万代八幡、御廟塚(西村)

老山、一路の手鍋 乳の岡山(市村)

大鳥郡古蹟 古城趾 廢寺 和泉宮 和泉の国府

岸和田

鉢菜庵(二休)

大鳥居王子

信太郷

しのだの里

篠田王子

上野(信太東)

高師の浜

大王寺趾 高師の浜名所景物

浜寺旧跡 高石浜の事 浜寺公園

浜寺停車場

鉾塚

横山

飛鳥

依網池(依羅池)

大伴金村の宅趾附帝塚山

小竹宮(尾井村)

乳ノ岡山(上石津)

踞尾村の旧墓

貝塚

一路庵、柳廬の詩

勢至塚(塩穴附近)

信田森

小林山蔭涼寺

取石ノ池(信太)

児の松(上野原)

風

祭礼仏事

祭礼仏寺歳中会 池車之大喧嘩之事

紀州大川円光大師尊像堺天神へ入仏

お蔭まいり

自明治十一年至二十八年祭礼其他

遊里

茶屋渡世差止の触 龍神遊廓

南新地 乳守の植女

御田植動所

歌謡 乳守の流行歌 遊女玉野の作詠

特殊風俗

微鮮魚壳

口碑伝説

聾入一休

左海一國寺絵師の事

風間六右衛門の事

出刃庖丁、田葉粉庖丁の由来並文殊四郎の銘刀の事

鬼の喜八風来人を世話する事

方言佐平次の起り

藤九郎妖怪屋敷に住む事

独鈷藤九郎悪心の事

同人智を以て立身の事

鼻の吉兵衛上戸の一款起請を続

福六友達を頼おいとを妻にする事

偽の文殊四郎の店出し

仏八月朔日の事

吞込婆に参会の事

福六勢州より帰国して大評議の事

さい女天罰を請る咄し

政治 二

新地方御伺御届書控(天明四―文化三)

漁場争議訴訟(寛政三年九月)

政治 三

和泉界政所日記

跡部山城守勤務日記(天保五―九年)

界加々美(天保十四年 豆岡大輔写)

明治三十一年施行特別大演習関係記録

政治 四

歴代奉行(界御奉行御在勤之控 その他)

代官、与力、同心、番所役人、石錢勘定方

維新当初界役人

政治 五

奉行所

界役人職制

歴代領守

奉行の姓名及び在職年代

奉行屋敷、諸組屋敷、牢獄、処刑場

界伊賀屋庄右衛門の娘危難に遭ふ事

料理屋の尾根印

福六縁談を断はられ身を隠す事

穂積清太郎縁組の事

から白ひやうし

家原寺並文殊の由来

浜寺石地藏の不思議を看破する事

種々の石の事(独鈷石、紫雲石等)

菊一文字始り

本家文珠四郎の咄し(懐坂の由来)

釣狐狂言の由来

技 芸

武野紹鷗(茶人)

北向道陳(茶宗匠)

千の利休

趙陶斎(書家)

政治 一

総 説

問屋掛り諸事控帳(寛政四年三月改)

公事訴訟御取捌帳(宝暦十一年八月)

石錢取様法並御勘定仕上格 附石錢場変更

奉行所蔵武器

御番所武器

諸欠所上納銀之事

地子免除之事

御救米一件

帆別銀徴収

武家並寺院屋敷地

演劇場

政所

界奉行の地位

役人屋敷地

高札場

馬借会所

町役人

惣年寄

惣代職事

垣外

町年寄

町代

掛屋

維新当初町役人

船年寄、茶船年行司、茶船惣代、廻船年番

渡海組頭、渡海惣代、汽船組頭、人足頭

戸籍、税務署、衛生、度量衡検定所

一大区戸籍惣計表

界税務署沿革

隔離病者の位置沿革等

度量衡検定所

裁判所、刑場、監獄

裁判所位置沿革、刑場の位置

石川五右衛門の揺房

堺監獄支署沿革

河川浚渫、米価騰貴救助米、困糶米蔵一件

新川並ニ堺市内川浚渫

天保年間米価騰貴救恤一件

困糶米蔵取建一件

犬扶持、検地、台場建築、幕末関係、断片

犬扶持状之写 検地奉行並に年代

台場建築年代 幕末関係（暗殺、赦書）

断片（人名附）

戦乱

南北朝時代 戦国時代

織豊時代

支那国使入勤堺の旅館に宿す

米村権右衛門堺に來り生鯛を買ふ

文書

三好義長書翰 宗久手書

農政

## 政治 六

政治

改元鳥兎記（自大化元年至元禄元年）

政治上の關係 嵩神天皇 皇朝歴史

難波高津宮 難波遷都高台望烟

説神官皇后論問答 仁德天皇 神官皇后三

韓征服新羅貢船ノ記 難波長柄豊崎宮 用

明天皇 推古天皇 欽明天皇 仁賢天皇

元明天皇 高野天皇 錢の初めの事 四畿

内の事 易田 陵戸の事 政所の事 政所

寄人の事 時頼ノ民法法令 山陵の事 兵

事（教育）王朝時代のこと 郷荘説 宮の

事 新莊園ノ禁商人活働法朝（臣社寺ノ不

法） 租税ノ大数 政法官職 政事執事の

事 教育（中興） 錢知行之事 穀知行之

事 足利幕府の政畧 室町番衆の事 室町

時代之事 室町幕府の事 寺社奉行の事

大阪 文久二戊辰四月筑前人平野二郎ヨリ

禁庭へ奉密奏候上書ノ与 大阪町奉行の事

水越ノ改革 銃隊操練行ハル 徳川幕府法

湊村関係事項

湊村の独立 湊村の人口

湊村に六尺給高掛り無かりし事

享保二十年新検地以来年々御取箇（中筋

北庄、湊、軸松村之分）

（参考）

天保八年五人組御仕置帳（下石津村分）

県治

堺県職員録（明治七年）

堺県公布様録（明治十一年）

奉行政治

堺奉行代々名乗姓名表

天誅組の事

令の公布 徳川幕府職制の事 徳川刑法の

事 若年寄の事 長崎奉行の事 大坂城代

の事 徳川幕府の公布と公布式 大阪目付

の事 大坂在番の事 幕領ノ総高租額 老

中の事 与力同心の事 旗下・旗本の事

町奉行の事 大阪城番・大坂定番の事 浪

螢集（止宿人届出ノ件 町人百姓ノ武器所

持ヲ禁ス「天保八年」殺人罪ノ捜査官令

「天保八年」 公武合体論起ル 山陵奉

行の事 大阪落城並其時之触与（慶応三年）

徳川慶喜追討ノ大号令（慶応四年一月）

天皇御即位並ニ明治ノ改元（明治元年）

廃藩置県ノ断行（明治三年十一月）

徴兵令ノ發布（明治五年十二月）

元勲ノ大阪會議（明治八年二月）

藤田組贖礼事件ノ疑獄（明治十三年九月）

地方官會議ノ開設ト新聞条例發布（明治八

年六月）

諸法典ノ發布並ニ司法制度ノ沿革（明治二

十三年二月）

教育勅語下賜並ニ教育制度ノ沿革 (明治二

十三年十月)

帝國議會ノ組織ト元老院廃止 (明治二十三

年)

第一帝國議會 (明治二十三年十一月)

第二帝國議會及其解散 (明治二十四年十一

月)

選舉干渉内閣ノ不統一 (明治二十五年二月)

第三帝國議會 (明治二十五年五月)

第四帝國議會 (明治二十五年十一月)

第五議會及其解散 (明治二十六年十一月)

第六議會及其解散 (明治二十七年五月)

明治以後の教育 明治五年癸卯学制之概要

及び其沿革 廃藩置縣 法布令並ニ法廻達

写 (明治四年一月ヨリ十二月迄) 洋字旺

盛 郵便 享保飢饉貨幣改革 天保ノ飢饉

銀座 通用金銀ノ事 コレラ 燈台増加燈

船浮標 (明治十年) 鯨ノ事 大阪二度驚愕

(沙越新八編 明治十二年刊)

## 政治 七

### 外交

遣唐使船 難波館 外交志稿交聘篇 欧州

人始めて我國に入る 東埔塞國トノ交渉

鴻港呂宋等ノ地方ト日本人 鴻港トノ交渉

暹羅國トノ交渉 安南國トノ交渉 呂宋ト

ノ交渉 世界形勢通覽表記 家康之対外政

略 家康之外交 (日本商人広南長官を打殺

す 朱印狀船の制を拡張して海賊を檢束す)

五港自由貿易條約 歸化人 明治以前外交

台灣國ト日本國 鎖國の布令 (葡萄牙人の

放逐 阿蘭陀貿易の隆昌 カリウタ船の拒

絶 各貿易港の轉移) 蘭人檢夫留日本

論ズ 異國渡海の禁 米國彼理來ル 蘭人

再告

### 戦乱

神武天皇東征 皇孫東征 日本武尊東征

新羅征服並鷹坂忍熊ノ叛太后摂政 三韓征

伐の事 神后之征韓 楠正勝ノ事 赤松彈

正氏範 永録年中武人割拠の形勢 大内氏

並に後藤基次大御所を供し参らす事 銅連

火砲關東の大軍を敗る条 大野道犬お獨め

捕り則誅戮の事 秀吉公大徳寺を破却し古

溪和尚を誅せんとす 伏見鳥羽の役 明治

中興 外國ノ処分 社寺処分 財政國難

警視庁を置く 憲法頒布 諸稅肇正

## 經濟 一 農工商

土切農政飲食 大工杣木挽人数ノ事 釀酒法

酒の初めの事 酒戶稅 (足利時代) 釀戶の

石數を定む (徳川中期) 酒造ノ概略ト制度

ノ沿革 鴻池酒ノ事 強弩ノ創製 火器類

鉄砲 火矢 鉄砲伝來 銃砲 鉄砲輸入之起

原 ザヴェル布教師 カソリック布教師來る

種子島家略譜 鉄砲伝來錄 三絃の起元 三

線鼓弓の古製 鉄冶 祝部土器 陶器 樽

紗羅 絹 真田紐の起原 油 硝子 本邦石

工業の創始 石垣 工產物輸出増加 (明治)

船舶の製水師ノ利 船舶 家屋 朱 朱座

外國模造品の弊 (明治) 諸國の生産貿易の

景況(明治) 米商会所株式取引所(明治)  
銀行設立(明治) 郡山金魚の話の事

## 工業

呉服ノ始 熟皮ヲ製シ絞ヲ染ムル始 諸工業ヲ勤マシム 瀬戸陶工ノ初 金襴綴子縮緬等ノ始 襦子綸子天鷲等ノ始 木綿布ヲ製スル始 日本古昔ノ写真術 本邦出版事業ノ起原 写真術ノ伝来 陶器ノ創造 漆器ノ起原 機工伝来ノ起因 沙ヲ織ル起因 織物ノ起因 西陣織ノ由来 白粉ノ始 蠟燭ノ起 金ノ始 銀ノ始 銅ノ始 器財

印形ノ始 升ノ始 秤ノ始 金蠟燭ノ始 本邦船舶ノ起 活版考 日本ニ於テ印板ノ始 大船ノ創造 活字板ノ創造 印形ノ創造 鉄砲ノ始 大砲伝来ノ起原(石火矢) 商業

売買ノ始 市ノ始 勘合符ヲ以テ明ト貿易スル始 手形ノ濫觴 酒家ノ標トシテ杉葉ヲ球形ニナシ橋頭ニ掲クル事

於ける製船術並線船術 比律賓群島に於ける歐亜の交通 砂糖の輸入 大隅御下命之御朱印船 当時商業の形勢如何(附・海路諸法度の事 船中規約) 各地御奉書並ニ御奉書(朱印状)の縮図 寛永元年朱印状下附せられし船数 海南諸国の日本町(附・家康外交の一環僻) 家康二航路の開通を企画す 家康の護歩外交並当時商民の進取気象 家康新航路を開て太平洋を横截る並に蘭船界浦に来る日本商民海南諸国に於て専横を極む 御朱印船の事 異国渡海朱印船の数並其航路 新西班牙との交通貿易(アダムス船を作る 家康新西班牙の総督に書を胎る 秀忠書をメシシコに贈る) 外国渡航ノ禁止 欧州人ガ日本ニ通ズル始 我国ニ於テ近古貿易ノ盛ナリシ原因其後二百余年金銀銅輸出入ノ結果 耶蘇教嚴禁並ニ鎖国ノ原因 西洋文物伝入ノ起源 徳川家康大船ヲ造リテ亜米利加ニ発航セシム 日本ト西南洋諸国トノ交渉、交通事歴 御朱印船 航海大船の禁及長崎一港を埔頭と定む

## 經濟及貨幣

貨幣製造ノ始 民間錢ヲ使用スル初 楮幣ヲ行フ始 貨幣ノ始 貨幣鑄造ノ起原 鑄錢ノ濫觴 金貨幣鑄造ノ創始 紙幣ノ濫觴 無尺講ノ起 現今(明治三年)通用金銀銅貨及紙幣種目

## 飲食

造酒ノ由来 日本酒ノ起原 櫻酒ノ起原 飯ノ始

## 農事

綿ノ始 蕎麦ヲ植ヘシ始 五斗俵ノ始 桑ノ元始 田ノ起 田制ノ起原 畑ノ原 養蚕ノ原 宅地ノ租税 夏成正税ノ始 石高ノ始 年貢ノ制ノ濫觴 四公六民法ノ初 五公五民法ノ始 三百坪一段ノ濫觴 百分三ノ地稅ノ制定 馬飼養ノ始 洋馬渡来ノ起原

## 經濟

### 二 貿易

貿易商業 外国貿易 勘合 近古時代当初に

秀吉洋船ノ貨物ヲ収ム 和蘭商船来堺 清蘭互市ノ制限 貿易品 外交志稿貿易編(西南諸国 歐羅巴及亜米利加) 和蘭 阿比港 奥国ノ来南ヲ復ス 南 船渡来 天主教伝道 切支丹伴天連等ヲ磔罪ニ処ス 徳川家康公ガ切支丹ニ対スル意見 大阪ト切支丹 和蘭商船日本ニ渡来 治外法權ヲ許シタル理由 鎖国断行ノ事情 貿易規程 日本船ノ外航ヲ禁ス 会所貿易 金銀貨濫出 唐船輸出入重要物品 阿蘭陀船入津覚帳 白帆黒船 外国交通

## 工業 上

### 工業総説

堺市の工業一斑

工業各説一 酒造、酒樽仲間

酒運上、酒屋敷造石高

江戸横酒樽荷印覚並ニ分量

酒造税の沿革 酒造税延期願並ニ達

酒類營業税法発布 酒桶容量算法ニ付達

自家用料酒造税法 酒造人心得書  
 酒造税則による申請様式  
 酒造税改正陳情書提出  
 滓引減量數願 杜氏取扱規程  
 譲造場規則 鳥井組長彰功記念式  
 正副組長及常議員改選  
 常議員会 組合章  
 酒造組合規則 役員会評議員会  
 全国酒造大会 酒造組合聯合大会  
 一府三県酒造組合聯合会  
 界酒造組合契約書  
 共同酒造場設立に関する件  
 界酒仲次同業者申合書  
 界芳醇会、界西海組  
 桶樽仲間賃ノ件 検査立会人ノ件  
 酒類製造人数並ニ石数  
 清酒造石一覽表 酒造業の実況  
 酒造統計表 改造石高  
 酒造統計(明治三十四年)  
 清酒輸入地及石高月別表

## 工業 中

清酒輸出地及石数並ニ地売一覽表  
 酒石代相場毎月平均表(明治三十一—三十二)  
 醸造用水(明治二十七—二十八)  
 醸造水運賃賃値上ノ件(明治三十一年)  
 鳥井審査官ノ受賞  
 各地に於ける共進会等の受賞者  
 喇酒会の受賞者 清酒献納の件  
 試験所の移転 酒造事務所財産物件  
 全国の米況 酒家沿革調査の事  
 議員当選(明治二十六年)  
 酒樽屋仲間申合判形帳(文化元年)  
 酒樽屋仲間定書(文化八年、十年)  
 工業各説二 庖丁鍛冶  
 庖丁鍛冶仲間記録  
 庖丁東京積打物問屋組合申合規約  
 鍛冶職弟子職働差止其他  
 出銀覚書  
 田葉粉庖丁播州江出店仕候に付申合名前簿

## 工業 下

多葉粉庖丁鍛冶名前帳  
 多葉粉庖丁鍛冶家の銘  
 仲間定書(宝曆十一年)  
 工業各説三  
 醸造業  
 界市酒樽業組合 その他  
 製糸業  
 撰糸絹 その他  
 織物業  
 絹問屋 嶋木綿織屋 毛綿問屋 木綿西  
 染屋 界綿織所 寄布現銀店 界綿織屋  
 錦織ノ濫觴 綾織ノ濫觴 漢織 綾  
 金襴 段通ノ起原 綴子 羅及紗 金紗  
 金紋紗 明様ノ好絹及縁絹 一糸織  
 縮緬 錢屋織ト松屋織  
 足袋  
 足袋屋仲間縫職申合帳(明治元年) 御  
 触承知印形帳(明治二年) 足袋縫手間

## 質定 足袋仕入屋仲間

鉄砲  
 鉄砲師 鉄砲台師 鉄砲金具師 銃砲  
 金物 鍛冶  
 庖丁 御方庖丁 出齒庖丁 土居ノ原鋸  
 加賀四郎 刀劔の抄記  
 履物類  
 毛皮草履の濫觴 塗木履 雪踏 金剛雪  
 踏  
 製塩、製紙  
 湊壺塩 湊壺焼塩 角塩 壺塩ノ事  
 腰張紙ノ事 一閑張紙細工 湊紙  
 陶器  
 湊焼陶器濫觴の概略 湊焼 行基焼  
 楽焼 永楽焼  
 漆器  
 春慶塗 界春慶 春慶焼 刀劔の鞘  
 竹細工  
 甫竹茶 天神前楠 竹細工 大安寺ノ藪  
 竹

雜

天川鳥子紙 助松屋素麵 打栗 白炭  
一節鼓銅 瓦師 からかさ師  
鉄炮鍛冶  
鉄炮製造業樓並伊三郎小伝  
鉄炮鍛冶 鉄炮記  
鉄炮年寄  
鉄炮商井上関右衛門談話筆記  
堺に於ける武器製造  
煉瓦  
堺市煉瓦の盛衰  
大阪窯業株式會社報告書  
日本煉瓦株式會社略沿革  
堺煉瓦株式會社報告書  
機業（紡績、綴通）  
堺の機場 織絹米由之卷写  
紡績所始只 堺紡績業の沿革  
堺紡績會社略沿革  
堺名産 堺綴通商事歴  
堺綴通の盛衰

諸工業

堺電燈會社の近況  
硫酸製造  
柴谷精米所の沿革  
臼屋値上の件  
線香の製造  
丹製法  
湊紙  
漆器 春慶塗  
鞆の製造  
堺の数寄屋工  
湊焼の起原 湊焼の祖先  
堺陶器の沿革  
商業 上  
商業総説  
堺の繁栄 年頭諸仲間御礼目録  
銀行と會社 堺富豪取調の事  
御用金名前 海部屋宗貞遺書  
堺港移出入品数量

商業各説

取引所

株式會社堺株式米穀取引所ノ起原沿革

朱座

朱座の事

朱座一件

糸割符

糸貿易の制規

貨物一法

銀座家覚書

銀取渡ノ通

香料商内に関する一札の事

糸割符申合帳増加条写

糸年寄へ申渡写

糸割符元へ被仰付候ニ付御札並諸祝儀帳

唐物引請方につき覚書

糸割符

線綿問屋

操綿問格録写

嶋毛綿問屋

線綿屋波止築立出銀の事

南組綿屋仲直立 堺木綿に就いて

木綿商業調査（天正年間―明治三十四年）

綿商業沿革調査（明治三十四年）

米問屋

米穀問屋並ニ仲買組合の沿革

商業 中

総説（含工業）

京大坂の繁栄 堺商業 工産惣論 商工業  
銀行、會社、工場名簿（明治三十三年）  
堺港出入船舶表及輸出入物品原価（明治三十三年） 商業者種別及工業者種別（明治三十三年） 和泉志 摂津 堺市の産物  
堺土産品名及数量ノ事（明治七年） 出入品大略 土産統計書  
堺港  
堺港の濫觴  
米相場 米相場所 米商取締諸件 大阪堂島  
ニ米相場ヲ許ス  
薫香  
伽羅沉香問屋  
糸割符  
糸荷廻舟 住吉糸割符再起書類

質屋、古手屋

質屋年寄 古手屋年寄 古道具屋年寄 古

手屋

薬種

名薬類 薬種株主 白粉 御免エンセウ屋

煙管屋

魚業

堺魚市 堺及高石魚市場 京都御用海漁所

桜鯛 芽亭鯛ノ事 前魚 鰻煎魚 沖鈴

干鰯油カス問屋 貝細工 金魚

履物商

履物商々業調査(明治十年―三十年)

雑

綿油相場会所 附木屋 朱座 青物問屋

茶煙草問屋 御掛屋 問屋年寄 大寺餅

紅葉豆腐 唐渡屋センベイ 鬼煎餅

柚松瓜 甜瓜

## 商業 下

商業各説

堺古昔外国との交易場たりし事

博覧会、水族館

京都博覧会票告 堺市水族館

水族館設計

市の出品勧誘 設備委員会と市参事会

水族館の事務と堺史編纂 公会堂設置の議

博覧会船の計画 堺市有志運動願末

協賛会と出品協会

来観人と旅店 協賛会発起人会

準備委員会

出品協議 事務局の視察

堺市編纂 堺市の施設

出品組合 堺市編纂常務委員

出品の奨励 堺市施設(動物飼養)

博覧会協賛会 橋梁の架換

水族館の設計 堺市編纂の事業

協賛会の成立 集談会

水族館の敷地視察 水族館の地鎮祭

堺出品協会

水族館工事 堺協賛会評議員会

魚問屋

魚問屋中買に係る達(安政六年)

魚問屋組合に関する調査

堺魚商組合規約

砂糖問屋

規定一札 規定帳(明治三年)

線香問屋

蕪物線香商組合ノ起原沿革

肥料問屋

肥料問屋仲買組合の沿革

油問屋

油問屋に関する件

材木及菜湯

材木等問屋株御免願之件

菜湯願書(明治元年)

貿易

堺の人常珍「バテレン」を密航して蘭船に発かる

堺浦貿易に就て諸書の引用

堺貿易史論

堺協賛会聯合 幻燈会

交通機關その他 水族館の噴水器

松田事務官の意見

設備委員会 入場券と携帯品預り料

堺市の出品 堺教育会

共同売店 農産物出品の選択法

水族館観覧料その他

堺市の売店 公会堂委員会

御臨幸準備 博覧会と大浜の魚市

水族館場内の奏樂堂

南北公園の棧橋と眺望閣

水族館臨幸設備に就て

水族館郵便局出張所

界中学校の出品 水族館温室開館

海鱸の飼養所 錦魚の出品

堺停車場の設備 堺市街電気鉄道

堺公園拡張 臨幸準備の協議

水族館観覧券 水族館と龍宮城

水族館諸規則改正

水族館技師任命 堺市案内記

品評会

第二、第三回堺区製産物品評会

第一回堺市農産物品評会

堺産物品評会

漁業

大阪片町鮎屋七左衛門一件(寛政元年)

伏見宮様御用所被仰付候一件(〃)

禁裏様御用御肴差支に付堺南北漁師並ニ撰

州五ヶ浦漁師相手取御願申上候一件(寛

政元年、五年)

市会議事録一 明治二十二―二十三年

市会議事録二 明治二十四年

市会議事録三 明治二十五―二十七年

市会議事録四 明治二十八―二十九年

市会議事録五 明治三十年

市会議事録六 明治三十四―三十五年

堺史料類纂拾遺 一―十

故小河一敏事略

左海鑑

参考資料 乾

祥雲寺略記

禅楽寺由緒書

堺旭蓮社縁起抜要

海会寺由緒

楽焼系譜

参考資料 坤

陝山侯手書記

西ルイス家系

泉州堺吉兵衛行状聞書

宗久書札留

長柄橋本記

堺区学事沿革

文珠四郎染付暖簾

その他

手鑑 享保二年

手鑑 延享八年八月改

手鑑 宝暦七年 三冊

手鑑 寛政八年

堺市郷土資料目録 第二集

堺史料類纂総目次

編集  
発行 堺市立図書館

印刷 東洋プリント株式会社  
電話 34 四二二〇番

昭和三十六年三月一日 発行